

テーマ「いきいき地域づくり」 参加者 18 名 (ファシリテーター / 福島長幹・書記 / 坂倉英樹)

1. ファシリテーター挨拶 (11:00~)

テーマ提示 現在の取り組み 現在の問題点 未来の亀山に何が必要か？

その為の今後の取り組み (問題解決)

テーマに基づき、ポストイットで参加者より意見を出していただく。

2. 参加者 意見

亀山は今シャープ効果で全国ブランドになっているが、それに伴い、もっと特産品等を作り観光客やいろいろな面で、お金を落としていってもらえる町にしていければ・・・

スッポンがよくつれるので、それにちなんだ名物料理を作っていればどうか？ (関ロジの料理に取り入れる) ジネンジョもよく採れる環境があるので、それらも特産品に取り入れていければいいのではないかな？

田んぼが大変な時代に入っていくと捉えている。それに対応していくように取り組んでいる。

ミツマタという木を使って紙隙をしている。それを発展させていければと考えている。

高齢化が進んでいるがいきいきした団地だと感じている。

高齢者が月 1 回あいあいにて子供と交流したりして過ごせるよう取り組みをしている。ハイヤーを今年度から利用できなくなってきた。それによって利用しづらくなった。一番問題なのは、そういった足の問題が大きい。

毎月マジックを研究している。介護施設に慰問にしている。

亀山宿のPR活動をしている。町並み等の復活をするために活動をしている。

子供たちや高齢者に目を向けた取り組みをしている。

福祉ネットワークを充実 (いきいきサロンの開設・友愛訪問・何 3 回宅食サービス・年 3 回理美容サービス) マンパワーを引き出すための取り組みをしている。

閉じこもりの高齢者をどのように町に引き出すかを考えている。交通手段が無いため、余計外出が出来なくなっている。

屋号を亀山市の街中にかけていく活動をしている。

来るべき東海大地震に備えて耐震性を調べる等の啓発活動をしている。

会員 20 名いるがなかなか集まれず会議ができない。

バスが関町内のみなので、亀山までつながるようにしていただきたい。

自主防犯活動が活発。9 つあるが、それぞれに自主防衛活動をしている。

敬老会やいろいろな活動をして活発である。

他から来た者だが、昔の仲間意識が強く感じる。

自分がコミュニティーでどのように暮らしていくかを探しに来た。

いどばたクラブに参加している。老人会を月に一回している。しゃべるということが健康の元であるという考えから、いろいろな取り組みをしている。

3. ひととおり自己紹介と取り組み等を発表していただきそれについて話し合う。

なかなか外から来たので馴染めないという問題について、

老後に暮らしやすい街づくりについて

未来の亀山に何が必要か？

人材をいかに発見するか。マンネリ化しているのでその打開か。

組織の活性化。耐震検診をどのようにしていくのか？ 亀山市活性委員会等々、いろいろな意見交換がされ、とても有意義な一日でした。